

シンポジウム

タブーに踏み込む科学・科学者

軍事研究、遺伝子操作について考える

いま、科学と科学者は大きな岐路に立っています。

安保関連法、武器輸出解禁、兵器開発のための軍学共同研究が推し進められつつあります。これまでとは異なる精度と速度をもつ新たな遺伝子操作により、これまで自然界には存在しなかったような生命体が誕生しつつあります。現代科学がいのちの尊厳を踏み越え、好戦者の手先になり、神の領域に近づきつつあるといえます。そのことは確実に市民生活のあり方を変えていきます。大事な市民との対話や社会的な合意形成を経ることのないまま、事態は暴走を始めているともいえます。今回は、科学者と市民との対話を通して、いま科学と科学者の世界で何が起きているか、どうすればよいかを率直に話し合うスタートにしたいと思います。

記

講演者 小沼通二 氏（元日本物理学会会長、世界平和アピール七人委員会委員）
池内 了 氏（名古屋大学名誉教授。世界平和アピール七人委員会委員）
島菌 進 氏（上智大学大学院実践宗教学研究科教授、東京大学名誉教授）
石井哲也 氏（北海道大学教授、日本生命倫理学会会員）
上林茂暢 氏（龍谷大学名誉教授）
天笠啓祐 氏（ジャーナリスト）
特別ゲスト アーサー・ビナード 氏（詩人）

日時 2017年7月17日（祝日）
時間 開場 12時30分 開演 13時 終了 18時15分
会場 江戸東京博物館 会議室 アクセス JR 総武線 両国駅西口下車 徒歩3分、東口下車 徒歩7分
主催 ゲノム問題検討会議、people21 協賛 DNA問題研究会、秘密保護法を考える川崎市民の会
内容

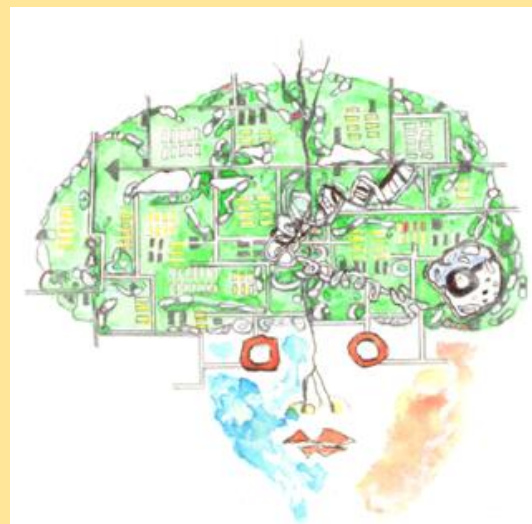
1部 13時10分～13時40分
小沼通二 氏 これからの日本のあるべき姿 ー科学者の立場からー
13時40分～14時10分
島菌 進 氏 なぜ、倫理的な歯止めや方向づけが必要なのか？
14時10分～14時40分
池内 了 氏
学問は軍事目的であってはならない。安心・安全な技術を導きだす学問でなければならない。

休憩
2部 14時50分～15時50分
アーサー・ビナード 氏 科学と科学者に注文する
3部 15時50分～16時20分
石井哲也 氏 ゲノム編集と生命倫理
16時20分～16時40分
上林茂暢 氏 ゲノムの時代の医学、医療技術
16時40分～17時
天笠啓祐 氏 食と農の現場から遺伝子操作を考える

休憩
4部 17時10分～18時10分
パネルディスカッション 上記講演者の方々(司会・天笠啓祐)
資料代 1000円 途中入場あり

問い合わせ 神野玲子 携帯 090-2669-0413

E-mail jreikochan@yahoo.co.jp



以上